

会員の皆様

この度は、コロナ禍の大変な中、認定看護管理者会の「IT 環境実態調査」にご回答いただき誠にありがとうございました。

ご回答を参考にさせて頂き、これからの新たな活動方法を模索していきたいと考えております。今後も認定看護管理者として「看護管理実践の質向上とそのための情報共有、ネットワーク作りの場」を大切に活動する予定です。

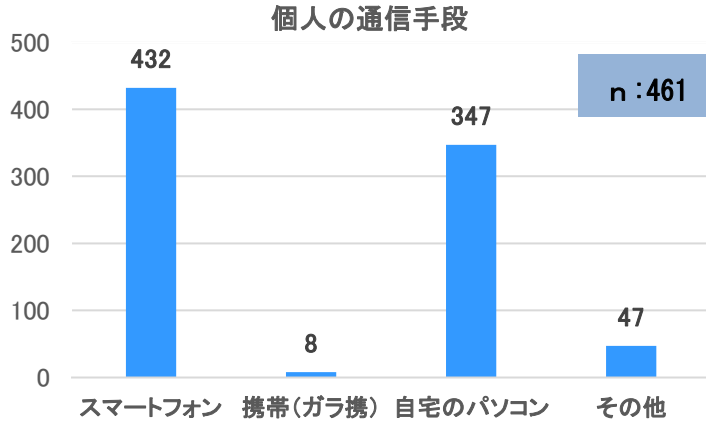
以下に、2020年7月に行いましたアンケート結果を掲載しますので、ご一読ください。

Web会議・研修についてのアンケート結果

メール送付 831 件 郵送 50 件(内 1 件のみ返送) 回答数 461 件 回収率 52.3%

1. IT 環境について

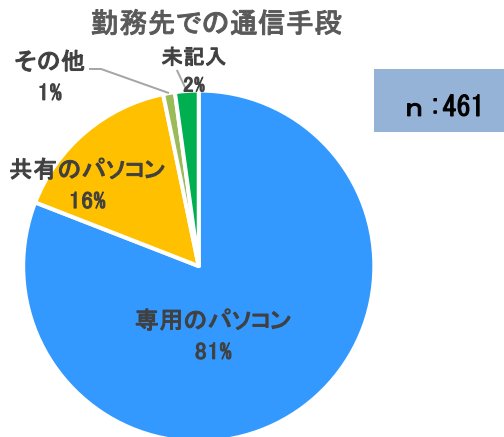
1-1 個人の通信手段(複数選択可)



「その他」と回答した方が利用している通信手段

iPad、職場のパソコン、勤務先のパソコン
タブレット、Wifi下であればスマホも可、
病院パソコン、仕事場のパソコン、職場で
使用のパソコン、各部署にネット環境のある
パソコンが支給

1-2 勤務先での通信手段

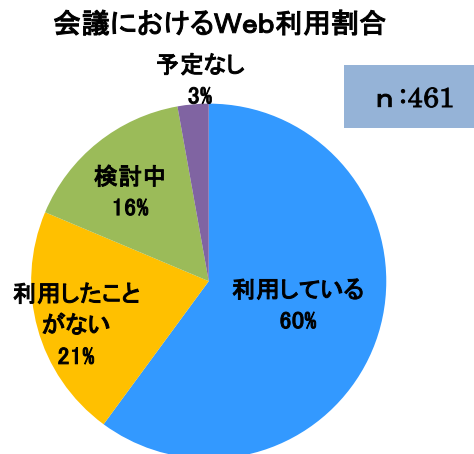


「その他」と回答した方が利用している通信手段

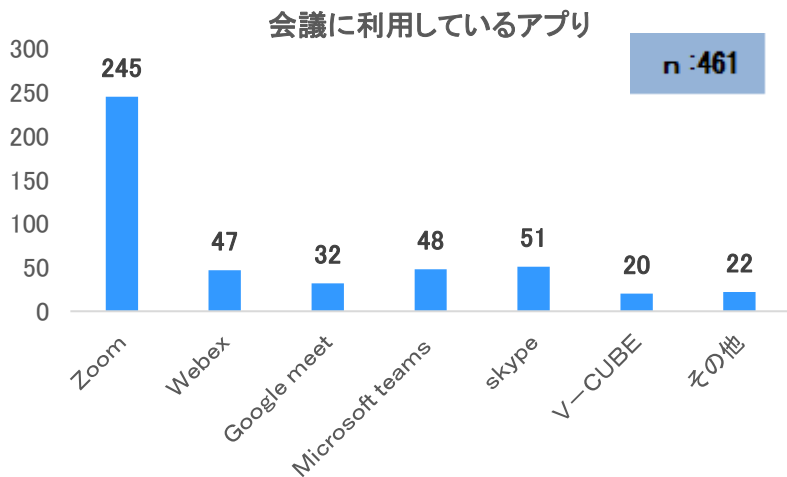
- ・仕事用スマートフォン
- ・会社用携帯電話/スマートフォン
- ・iPad
- ・個人のスマートフォン
- ・各部署長に、iPhone か iPod が貸与

1-3 Webの利用状況

<会議>

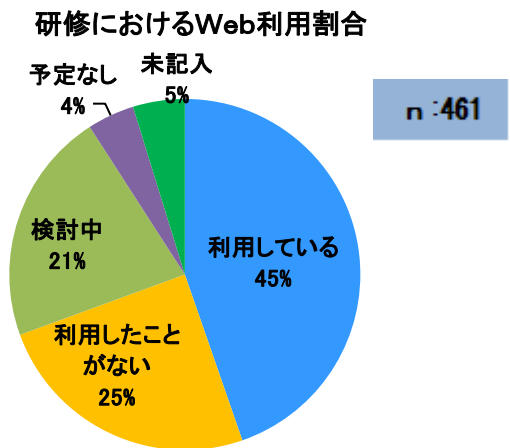


「会議」に「利用している」と回答した方は、利用しているアプリについて(複数選択可)

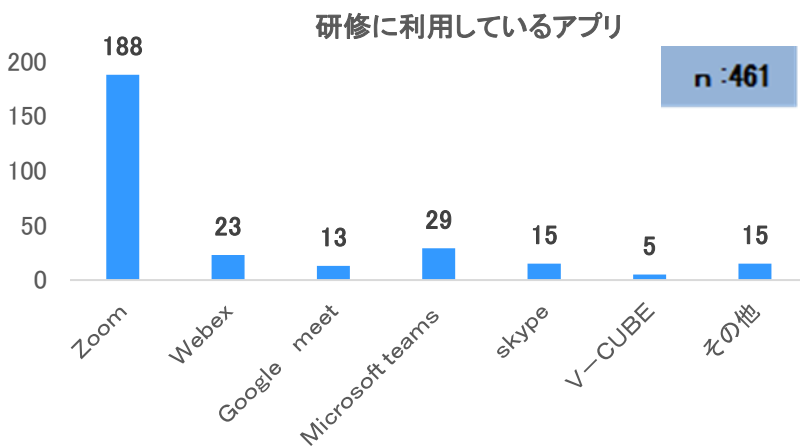


「その他」と回答した方が利用しているアプリの名称
 リモートミーティング、teams(病院で認められているもの)、facetime、SOBA meeting、Cisco、Live On、リコー独自のシステム、Teams、ギンガシステム

<研修>



「研修」に「利用している」と回答した方は、利用しているアプリについて(複数選択可)



「その他」と回答した方が利用しているアプリの名称
 teams(病院で認められているもの) Cisco、ナレッジ・デリバリー e-ラーニング、google classroom、フェイスタイム
 研修会の使用は、講義形式の動画配信を使用

2. 認定看護管理者会のコロナ禍での活動へのご提案について

1) 研修のオンライン化

- ・新型コロナ対応における各病院での取り組みについての情報共有や情報交換ができるオンライン研修を希望する。(タイムリーな情報交換を希望する)
- ・オンライン会議・研修会を希望する。研修様式や会議様式も変更すべきと考える。
- ・地理的に集合が難しい場合でも、気軽に参加でき、認定看護管理者とネットワークを強固なものにしていくと良い。
- ・オンライン研修は参加者のメリットが多く、前向き(積極的)に検討すべきである。
- ・事前説明(ライブか収録か等)が必要、さらに開催方法、開催時間・期間などの検討をお願いしたい。
- ・参加者数の把握が必要なのではないか、また参加の取扱いを整理すべきである。
- ・開催にあたってはセキュリティの確保が必要。
- ・スマホ設定や自宅パソコンの有無など確認後なら可能。
- ・研修内容の全国統一、研修地における講義内容レベルの均一化、講師費用削減などメリットが多い。
- ・他ブロックの研修会が参照できるか、開催日程で課題がある。
- ・手元に資料をおいて受講したい、メール等で配信してほしい。
- ・ホームページ上で一定期間動画や資料を閲覧できる対応をお願いしたい。

<オンラインの弊害>

- ・意見交換が少なくなるのではないかと懸念。
- オンライン体制が整っていない施設の対応が必要。

2) 総会のオンライン化

- ・総会のオンライン化の検討をお願いしたい。
- ・総会同日開催の研修会も参加証の発行があれば研修受講ポイントが得られるのではないかと懸念。

3) 医療機関の現状調査

- ・医療機関がおかれている厳しい現状についての調査も必要ではないかと懸念。

4) 情報共有

- ・情報共有はHPでも行ってほしい。
- ・AI、IT、ロボットを使った環境で業務の効率化や、人材育成、経営の視点で、どのような環境の変化があったか、マネジメントされているか、自施設にとって今後の参考にしたい。

3. 新型コロナ対応で認定看護管理者として考えたこと、困ったことなど

1) 情報共有、連携について

- ・地域では来訪を嫌がり、地域連携に不自由な面が多い。
- ・速やかな対応・対策が必要であり、他の医療機関との情報共有が重要。
- ・情報共有に問題あり、発生状況、ベッドの空き状況、PCR検査体制など一元的管理をどこが行っているのかははっきりしていない。
- ・ネットワークの強化。
- ・近畿地区のタイムリーな情報交換が役に立った。看護協会からの情報がありがたかった。
- ・新型コロナウイルスの影響で、各病院の経営が落ち込んでいる中、管理者としてどう乗り切るかディスカッションできるとよい
- ・医療従事者として、自己の行動に責任を取らせるために、どのように教育をしていくのか。(自分事としてとらえられない職員・危機意識)

2) オンライン化

- ・オンラインを活用して習得可能な知識を全国規模での整備が必要。
- ・オンライン環境を整えることはコストもかかるが最優先課題である。
- ・コロナ対策に限らず、管理者同士の連携が必要、そのためにもオンライン採用が大事。
- ・WEB 活用が著しく拡大したものの、苦手意識を持つ管理者もいる、更に消極的な施設もある。
- ・オンライン研修は課題が山積みしている。
- ・コロナを逆に今までの会議体のあり方を見直すチャンスとなった。Web でも双方向でのコミュニケーションが可能であることが分かった。

3) 新型コロナ感染対応の防護具等の不足

- ・介護老人保健施設では、食事介助時ゴーグル着用など根拠不明で防護具も入手困難であった。
- ・防護具の確保に苦渋している。
- ・衛生材料が入りにくい。
- ・N95 マスクの供給が途絶えたまま。

4) 感染管理等

- ・院内感染を発生させないことを合言葉に会議などを通じて職種連携・協力したが清掃面での課題が露見した。
- ・感染管理の徹底。
- ・スタッフ教育によりスタッフの安全性の確保。
- ・感染認定看護師の活躍の場。
- ・今回の非常事態では認定看護管理者として、認定看護師の育成を積極的に進める必要がある。
- ・長期化を予想し、持続可能な体制づくりが必要。

5) 職員のメンタルヘルスケア、働く環境整備等

- ・看護師の心のケアの重要性、柔軟な人員配置などが大事。
- ・コロナ対応をしたくない、家族から止められている等、職員対応に苦慮。
- ・看護師のスキル・モチベーションの維持に苦慮している。
- ・離職率が高くなることを懸念している、相談窓口を早期に設置することが必要。
- ・看護職が安全に安心して働く環境の整備が必要。
- ・看護師は無症状でも検査してほしい。
- ・看護職とその他の職種では温度差がある。
- ・コロナ対応するスタッフへの付加価値。
- ・コロナ受入れ病棟の勤務管理の好事例があれば活用したい。
- ・看護体制など工夫したことの情報交換ができればよい。
- ・陽性者に対応した職員のメンタルのフォローに困った。(家族からも差別的な扱いを受けた。家族に感染させるのが怖くて同居に不安がある等)

6) 新卒研修の課題

- ・看護学生が実習できない状況を来年の新人研修でどう補うかが課題。

7) 病院経営

- ・患者対応の補助金は個人ではなく病院とし、対応車への対応は病院に任せてほしい。
- ・病院経営の困難さを痛感している。

8) 実践報告会の開催

- ・地区別実践報告会を再開して頂きたい。